呉工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	英語Ⅶ

科目基礎情報

科目番号	0180	科目区分	一般 / 選択必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	建築学科	対象学年	4
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	ヒロ前田『TOEICテスト究極の模試600問＋』（アルク），TEX加藤『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』（朝日新聞出版）		
担当教員	大森 誠,松崎 翔斗		

到達目標

1. リスニング演習によって，テキストで扱われるリスニング問題に対応できるようになること
2. リーディング演習によって，テキストで扱われるリーディング問題に対応できるようになること
3. 学習するTOEIC必須語彙を覚え，実際のTOEIC問題に使えるようになること

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	テキストで扱われるリスニング問題に適切に対応できる	テキストで扱われるリスニング問題に対応できる	テキストで扱われるリスニング問題に対応できない
評価項目2	テキストで扱われるリーディング問題に適切に対応できる	テキストで扱われるリーディング問題に対応できる	テキストで扱われるリーディング問題に対応できない
評価項目3	学習するTOEIC必須語彙を覚え，実際のTOEIC問題に適切に使うことができる	学習するTOEIC必須語彙を覚え，実際のTOEIC問題に使うことができる	学習するTOEIC必須語彙を覚え，実際のTOEIC問題に使うことができない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	実践的なTOEIC問題演習を通して，TOEICテストへの対応力を高めることを目的とする。また，ALC NetAcademyを活用することによりリスニング・リーディング力の強化を目指す。本授業は就職と進学に関連し，コミュニケーション力を高めることができる。
授業の進め方・方法	演習を基本とする。 この科目は学修単位科目のため，e-ラーニングの課題を出し，学習状況をシステム上で確認する。さらに，授業内容の定着状況をほぼ毎回のワークシートで確認する。これらの結果をポートフォリオ（成績の30%）として評価する。新型コロナウイルスの影響により，授業内容を一部変更する可能性があります。
注意点	授業にはテキスト・辞書を必ず持参すること。TOEICテストのスコアアップには基礎の定着が不可欠です。授業外でのトレーニングも怠らないように。授業では集中して演習に取り組み，質問等を積極的に行うよう期待する。 【カリキュラムの中での位置づけ】 1～3学年の英語関連科目で学んだ文法事項を定着させ，語彙力を高めて英語力を伸ばすための科目。 【先行して理解する必要のある科目】 英語I-VI，英語表現I-IV 【同時に学ぶ科目】 なし 【ＥＳＤとの関連 （教育目標）】 （ESD1）テキストの演習を通して，英語でのリスニング・リーディング能力を高めることで，他文化の考え方や価値観を理解する素養を身につける。 【評価方法と基準】 JABEE合格基準：60%以上 期末試験70%+ポートフォリオ点30%=100%(100点) またはTOEICスコアによる評価（詳細資料は授業で配布） 60%以上を合格とする。

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	概要説明	
		2週	TOEIC問題演習1	模擬試験1のリスニング問題が解けるようになる TOEIC必須語彙の一部の意味を言えるようになる
		3週	TOEIC問題演習2	模擬試験1のリーディング問題が解けるようになる TOEIC必須語彙の一部の意味を言えるようになる
		4週	TOEIC問題演習3	模擬試験1のリスニング問題が解けるようになる TOEIC必須語彙の一部の意味を言えるようになる
		5週	TOEIC問題演習4	模擬試験1のリーディング問題が解けるようになる TOEIC必須語彙の一部の意味を理解し，英語で書けるようになる
		6週	TOEIC問題演習5	模擬試験1のリスニング問題が解けるようになる TOEIC必須語彙の一部の意味を理解し，英語で書けるようになる
		7週	中間試験	
		8週	TOEIC問題演習6	模擬試験1のリスニング問題が解けるようになる TOEIC必須語彙の一部の意味を理解し，英語で書けるようになる
	2ndQ	9週	TOEIC問題演習7	模擬試験1のリーディング問題が解けるようになる TOEIC必須語彙の一部の意味を理解し，英語で書けるようになる
		10週	TOEIC問題演習8	模擬試験1のリスニング問題が解けるようになる TOEIC必須語彙の一部の意味を理解し，英語で書けるようになる

		11週	TOEIC問題演習9	模擬試験1のリーディング問題が解けるようになる TOEIC必須語彙の一部の意味を理解し，英語で書けるようになる
		12週	TOEIC問題演習10	模擬試験1のリスニング問題が解けるようになる TOEIC必須語彙の一部の意味を理解し，英語で書けるようになる
		13週	TOEIC問題演習11	模擬試験1のリーディング問題が解けるようになる TOEIC必須語彙の一部の意味を理解し，英語で書けるようになる
		14週	TOEIC問題演習12	模擬試験1のリスニング問題が解けるようになる TOEIC必須語彙の一部の意味を理解し，英語で言えるようになる
		15週	期末試験	
		16週	答案返却・解答説明	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0